無聖

第87号

◆「同行同修」～共に学び 共に行ずる～
　会長　千田　祥幹 …… 2
◆第28期新役員一覧 …… 3
◆令和4年度事業報告 …… 4
◆令和4年度収支決算報告 …… 5
◆令和5年度事業計画 …… 6
◆令和5年度予算書 …… 7
◆令和5年度第1回研修会 …… 8
◆令和5年度ソフトボール大会報告 …… 9
◆令和5年度定例総会 …… 9
◆青年会員をたずねて① …… 10
◆サンタピアップみやぎボランティア会 …… 11
◆新入会員紹介・卒業会員・今後の予定 …… 12

会長挨拶

「同行同修」～共に学び 共に行ずる～

第28期会長 洞雲寺 副住職　千田祥幹

この度、宮城県曹洞宗青年会第二十八期会長を拝命いたしました仙台市泉区洞雲寺副住職千田祥幹と申します。

浅学非才の身でございますが、皆様方のご教導をたまわりながら務めて参りたいと存じますので何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年当会では、石巻にて東北地区曹洞宗青年会地方集会「宮城大会」を開催し、その中で東日本大震災犠牲者十三回忌法要を勤めました。大会テーマを我々の被災地・被災者への鎮魂の思いを伝えるべく『伝心』といたしました。それは同時に、これまでの諸先輩方の歩みや思いを我々の代が受け継ぎ、次の世代へと伝えていくことに他ならないと存じます。五十年を超える宮城県曹洞宗青年会の歴史の一翼を担わせていただけますこと、一層身が引き締まる思いでございます。

「今期スローガンと運営方針」

新型コロナウイルス発生から三年余り、世界的な感染拡大がもたらした恐れと不安は私達の心に暗い影を落としてきました。人と人とのふれあいを奪うこの感染症の拡大を前に、我々のありふれた日常は崩れ去り、宮城県曹洞宗青年会の活動の多くもまた中止・縮小を余儀なくされるという苦しい状況が続いてまいりました。

そのような困難な時代にあっても我々青年僧侶は歩みを止めず、力を合わせて互いの研鑽に努めるべきという考えに思い至りました。そこで今期は、『同行同修 ～共に学び 共に行ずる～』をスローガンとし、活動を続けてまいりたく存じます。

コロナ禍においてニューノーマルという新たな生活様式が生まれました。しかしそれは感染対策として効果を上げる一方、私達の互いの心の距離をもひろげ、あたかも他者とのかかわりを断ち、関心を寄せないことを良しとするかのような風潮が高まりました。

「同行同修」には「他を受け入れながら同じ修行をする」という意味があります。依然として完全に脅威は消え去っていない状況が続いておりますが、そのような中でも宮曹青行持を通じて皆様と共に精進していきたいという一心を込め、このスローガンを掲げさせていただきます。

さらに今、社会では宗教へ厳しい目が向けられており、それは教団のみならず個々の宗教者の資質を問うものでもあります。今こそ私達は「青年僧侶として何ができるか」という問いに答えを求められているのではないでしょうか。

世の中に目を移せば、震災で傷ついた方々や、貧困等様々な事情を抱えた方々が苦しみの最中にあります。その苦しみに耳を傾けること、そして寄り添い続けることが我々僧侶の第一義であり、そのような環境に自ら身を置く機会を設けていくのが青年会活動であります。

他者の心に寄り添える僧侶としての姿を目指せるような様々な研修会の実施、そして会員の情報交換・親睦を進め、会員各々の積極的な布教活動の実践につなげていきたいと存じます。

また、今期の新たな事業として、我々宮曹青の活動を周知し、さらには仏教というものを身近に感じていただきたいとの思いから、公式インスタグラム・フェイスブックを開設いたしました。皆様に親しんでいただけるよう創意工夫しながら更新してまいります。

「サンタピアップみやぎボランティア会について」

七月二日に開催された総会席上、主管団体である宮曹青会長としてサンタピアップみやぎボランティア会においても会長の任を拝命いたしました。顧みますと当会では四年前の神作会長在任時、通算二十校目となるアンプ・ルー小学校の建設が成され、贈呈式のためにカンボジアに向かうスタディツアーの準備が進められていました。その矢先、世の中に新型コロナウイルスがまん延した事によりツアーは中止となり、以来事実上の活動はハガキのリサイクル事業、カレンダー販売に限定されるという事態に陥りました。宮曹青活動同様、各イベントに次々と自粛の二字を突き付けられながらも地道な広報活動を継続し、昨年は漸くチャリティバザーが再開される運びとなりました。コロナ禍にあっても活動の灯を絶やすことなく今期へとバトンをつないでくださった神作元会長、高橋前会長のご労苦には心より敬意を表するものであります。

現在、学校建設費が高騰しており即座に学校建設事業再開は難しいかもしれません。今期はカンボジアフェア等、休止していた活動を再開しつつ現地の情報を得ながら、学校建設以外の教育支援の可能性も模索してまいりたいと存じます。状況が許せば実際にカンボジアへ足を運び、自分たちの目で完成した小学校やそこで学ぶ子供たちの姿を見られるようなツアーを企画したいと考えております。

皆様方には変わらぬご協力とご支援をお願いいたします。

「結びに」

振り返ってみますと、私の僧侶としての歩みは常に宮曹青と共にありました。安居を終えて右も左もわからない私に僧侶としてということだけではなく、人としてどのようにあるべきかをご教授くださったのは宮曹青の諸先輩老師でした。特に東日本大震災発災後は、数々の支援活動の中で「今、なすべきこと」を身をもってお示しくださり、仏教者の原点、すべての方々の苦しみ悲しみに寄り添うことの大切さを学ばせていただきました。会長という、伝えられる立場から伝える立場となった今、その責務の重大さを改めて実感すると同時に〝任に当って他に譲り難し〟の念をもって精進する所存でございます。今後とも、尚一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

末筆となりますが、県内御寺院様はじめ正会員・賛助会員・特別会員の皆様には、これまでと同様にご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第28期 新役員一覧

会長	千田 祥幹	洞雲寺
副会長	牧野 隆信	高林寺
仝	渡邊 桂堂	天性寺
仝	三宅 大哲	照源寺
監事	小枝 誠智	國分尼寺
仝	八巻 英成	保福寺
仝	酒井 禅悦	清水寺
研修委員長	岩井 太秀	宗禪寺
ボランティア委員長	佐藤 泰澄	松岩寺
交流事業委員長	三田村孝成	真證寺
広報編集委員長	佐藤 邦彦	龍雲寺
研修副委員長	阿部 真龍	光壽院
ボランティア副委員長	我妻 俊道	江巖寺
交流事業副委員長	大山 裕也	洞安寺
広報編集副委員長	桑原 賢龍	大蓮寺
事務局長	都築 達明	鉤取寺
会計	伊藤 大輝	光明寺
仝	赤間 良器	龍角寺
庶務	伊串 光仙	玄光庵
仝	小林 信眼	徳本寺
顧問	髙橋 信弘	大慈寺

●全国曹洞宗青年会

広報委員長	宮本 貴心	石雲寺
執行部庶務	小林 宗明	見松寺

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会

常任幹事	千田 祥幹	洞雲寺
幹事	牧野 隆信	高林寺
仝	渡邊 桂堂	天性寺
仝	都築 達明	鉤取寺

●教区理事紹介

第1教区	松山 宏成	昌林寺
第2教区	浅沼 良智	龍泉院
第3教区	村上 孝宗	玉川寺
第4教区	田村 顕裕	吉祥寺
第5教区	大川原啓介	徳成寺
第6教区	佐藤 滋元	福應寺
第7教区	仙石 鳳順	湯船寺
第8教区	大友 康弘	龍川寺
第9教区	青木 崇玄	妙伝院
第10教区	宮本 瑛二	東光寺
第11教区	米谷 文彬	西雲寺
第12教区	山脇 真瑞	龍澤寺
第13教区	坊澤 興淳	龍洞院
第14教区	湖 孝徳	東陽寺
第15教区	橘 勇貴	福田寺
第16教区	片山 宏洋	地福寺
第17教区	本間 英純	雙林寺
第18教区	菅原 大樹	観音寺
第19教区	岩渕 義慶	常因寺
第20教区	藤原 俊洋	洞雲寺
第21教区	小石川一幸	安養寺

令和４年度　事業報告（関連事業も含む）

●宮城県曹洞宗青年会

月　日	事　　項	場　　所	備　考
令和４年			
4月6日	役員会①理事会①	まきあーとテラス（石巻市）	35名参加
〃	宮城大会準備委員会⑤	〃	〃
4月11日	月例供養⑥	千年塔（山元町）	10名参加
4月17日	定例総会	ホテルニュー水戸屋（仙台市）	52名出席
5月11日	月例供養⑦	気仙沼市復興記念公園	14名参加
5月23日	ソフトボール大会	仙台市海岸公園野球場	延べ199名参加
6月11日	月例供養⑧	七ヶ浜公園墓地	8名参加
6月14日	役員会②理事会②	江巌寺（仙台市）	35名参加
〃	宮城大会運営委員会①	〃	〃
6月20～22日	バザー準備会	東周院（東松島市）	14～17名参加
7月1日	チャリティバザー販売会①	国分尼寺（仙台市）	24名参加
〃	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	〃	37名参加
7月12日	第1回研修会(月例供養⑨)	千年塔、徳泉寺（山元町）	45名参加
〃	宮城大会法要会議	當行寺（亘理町）	
7月21日	宮城大会運営委員会②	洞雲寺（仙台市）	21名参加
7月24日	チャリティバザー販売会②	女川みなと祭り（女川）	5名参加
7月30日	チャリティバザー販売会③	東周院（東松島市）	19名参加
8月10日	会報「無聖」85号発行		
8月11日	月例供養⑩	南三陸防災庁舎（南三陸）	5名
8月25日	宮城大会法要会議	宮城県宗務所（仙台市）	8名参加
8月31日	宮城大会運営委員会③	江巌寺（仙台市）	28名参加
9月11日	月例供養⑪	岩沼市、名取市	11名参加
9月14日	宮城大会法要会議	天性寺（三本木）	
10月3日	役員会③理事会③	NOMCO＆CO.（石巻市）	21名参加
〃	宮城大会実行委員会①	〃	〃
10月11日	月例供養⑫	雄勝地区慰霊碑（石巻市）	7名参加
10月17日	宮城大会打ち合わせ	安養寺（仙台市）	6名参加
10月31日	宮城大会事務局会	安養寺（仙台市）	7名参加
11月1日	宮城大会実行委員会②	まきあーとテラス（石巻市）	27名参加
11月11日	月例供養⑬	東日本大震災復興祈念公園（東松島市野蒜）	15名参加
11月14日	宮城大会法要会議	天性寺（三本木）	20名参加
11月18日	宮城大会実行委員会③	NOMCO＆CO.（石巻市）	39名参加
11月26～27日	東北地協宮城大会	まきあーとテラス（石巻市）来場者約800名、	県内外曹青162名随喜
12月5日	役員会④理事会④	洞雲寺（仙台市）	21名参加
12月11日	月例供養⑭	女川海岸広場（女川）	9名参加
12月14日	年次総会	宮城野斎場清月記（仙台市）	52名参加
令和５年			
2月9日	会員大会	ホテルグランテラス仙台	60名参加
2月11日	月例供養⑮	大慈寺（登米市）	12名参加
3月11日	東日本大震災慰霊行脚	石巻市大川地区	11名参加
3月16日	役員会⑤理事会⑤	江巌寺（仙台市）	30名参加
〃	宮城大会実行委員会④		〃

※この他「三役会」「宮城大会準備会」「発送作務」を随時開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会（地協）

月　日	事　　項	場　　所	備　考
令和４年			
6月1日	常任幹事会・定例幹事会	ホテルニューキャッスル弘前	3名参加
9月13日	常任幹事会	仙台市	7名参加
11月25日	常任幹事会	まきあーとテラス（石巻市）	
11月25日～26日	東北地協「宮城大会」	〃	
令和5年			
2月3日	常任幹事会	青森県	1名参加

●全国曹洞宗青年会

月　日	事　　項	場　　所	備　考
令和4年			
5月10日	中央研修会	東京グランドホテル（宗務庁）	
5月11日	定期総会	〃	
11月22日	研修会	オンライン	
〃	臨時評議委員会・臨時総会	〃	

●全日本仏教青年会（全日仏青）

月　日	事　　項	場　　所	備　考
令和4年			
4月26日	花まつり千僧法要	奈良県東大寺（オンライン）	

●その他

月　日	事　　項	場　　所	備　考
令和5年			
2月20日	福島県曹青　慰霊行脚	福島県浜通り	2名参加

令和4年度 収支決算報告

自 令和4年4月1日　　至 令和5年3月31日

●収入の部

項　目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備　　考
Ⅰ会費収入	3,250,000	3,210,000	▲40,000	
1.正会員	1,810,000	1,820,000	10,000	10,000円×182名
2.賛助会員	750,000	750,000	0	5,000円×150名
3.特別会員	690,000	640,000	▲50,000	10,000円×64団体
Ⅱ助成金	300,000	300,000	0	宗務所より
Ⅲ雑収入	9,865	28	▲9,837	預金利子
Ⅳ繰越金	2,960,135	2,960,135	0	前年度より
合　　計	6,520,000	6,470,163	▲49,837	

●支出の部

項　　目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備　　考
Ⅰ．会議費	300,000	247,800	▲52,200	
1.総　会　費	150,000	107,800	▲42,200	
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費　５回
3.役員会費	25,000	25,000	0	会場費　５回
4.委員会費	100,000	90,000	▲ 10,000	５委員会・事務局会開催費
Ⅱ．事務費	1,450,000	900,205	▲ 549,795	
1.消耗品費	250,000	23,723	▲ 226,277	事務用品、用紙代等
2.通　信　費	650,000	473,772	▲176,228	郵送料、振込手数料、電話料、ＨＰ管理費、Zoom使用料
3.印　刷　費	150,000	58,850	▲91,150	封筒、名刺印刷
4.備　品　費	150,000	128,760	▲ 21,240	事務機使用料、PCソフト代
5.慶　弔　費	50,000	15,100	▲34,900	慶弔電報
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局、庶務、会計事務費補助
Ⅲ．事業費	1,650,000	923,257	▲726,743	
1.研修委員会	250,000	58,985	▲191,015	研修会×１回
2.ボランティア委員会	250,000	90,801	▲159,199	チャリティバザー
3.広報編集委員会	600,000	550,000	▲50,000	『無聖』発行×2回
4.交流事業委員会	250,000	148,471	▲101,529	ソフトボール大会、会員大会
5.特設委員会	100,000	0	▲100,000	
6.教化費	100,000	60,000	▲40,000	会員大会時助成
7.事業諸費	100,000	15,000	▲85,000	旅費補助（地協青森大会参加者）
8.会員名簿作成費	0	0	0	
Ⅳ．負担金	250,000	241,000	▲9,000	全曹青、地協会費、ストックヤード維持費
Ⅴ．予備費	720,000	0	▲720,000	
Ⅵ．雑　費	150,000	34,320	▲115,680	渉外活動費、各会議茶菓、会費払込手数料等
Ⅶ．繰出金	2,000,000	2,000,000	0	
ボランティア基金	0	0	0	
特別事業準備金	0	0	0	
復興支援活動金	0	0	0	
宮城大会準備金	2,000,000	2,000,000	0	宮城大会準備金へ繰出し
合　　計	5,520,000	4,346,582	▲2,173,418	

■特別会計決算書

- ボランティア基金　1,331,773円
- 特別事業準備金　2,760843円
- 復興支援活動金　1,258,025円
- 宮城大会準備金　0円

総 収 入　6,470,163円
総 支 出　4,346,582円
差　　引　2,123,581円

令和4年度の決算書を上記の通り提出致します。

令和５年４月18日　会長　髙 橋 信 弘　㊞

【監査報告】令和５年４月１日、２教区江巌寺様において監査を行い
令和４年度一般会計が適正に執行され、正確であることを確認いたしました。
監事　小枝　誠智　㊞　　吉田　亮顕　㊞　　酒井　禅悦　㊞

令和5年度　事業計画

●宮城県曹洞宗青年会

月　日	事　　項	場　　所	備　　考
令和5年			
4月5日	理事会①	洞雲寺	
4月18日	定例総会　(合同委員会)	新寺清月記	
6月5日	ソフトボール大会	仙台市海岸公園野球場	
6月中旬	理事会②	未定	
7月	第1回研修会	未定	
7月上旬	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	未定	サンタピアップ関係
7月下旬	「無聖」87号発行		
9月中旬	カンボジア教育支援チャリティバザー	栗駒総合体育館	
10月上旬	梅花県奉詠大会	仙台サンプラザ	
10月上旬	理事会③	未定	
11月	第2回研修会	未定	
12月上旬	理事会④	未定	
12月中旬	カンボジアフェア	セルバ	サンタピアップ関係
12月中旬	忘年会	未定	
令和6年			
2月	会員大会	グランテラス仙台　他	
2月下旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未定	サンタピアップ関係
3月初旬	カンボジアフェア	藤崎	サンタピアップ関係
3月中旬	理事会⑤	未定	
3月下旬	「無聖」88号発行		

※復興関連事業は被災地の事情等を考慮し適宜開催
※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会（地協）

月　日	事　　項	場　　所
令和5年		
5月上旬	常任幹事会･定例幹事会	岩手県
10月20日	東北地方集会「青森大会」	青森県

●全国曹洞宗青年会(全曹青)

月　日	事　　項	場　　所
令和5年		
4月26日	花まつり　千僧法要	奈良県　東大寺(オンライン)
5月10、11日	全国曹洞宗青年会　総会･研修会	宗務庁(現地、オンライン)

令和5年度 予算書

自 令和5年4月1日　　至 令和6年3月31日

●収入の部

項　目	4年度予算	5年度予算	比較増減	備　考
Ⅰ会費収入	3,250,000	3,275,000	25,000	
1.正会員	1,810,000	1,820,000	10,000	10,000円×182名
2.賛助会員	750,000	755,000	5,000	5,000円×151名
3.特別会員	690,000	700,000	10,000	10,000円×70団体
Ⅱ助成金	300,000	300,000	0	宗務所より
Ⅲ雑収入	9,865	1,419	▲8,446	利息等
Ⅳ繰越金	2,960,135	2,123,581	▲836,554	前年度より
合　計	6,520,000	5,700,000	▲820,000	

●支出の部

項　目	4年度予算	5年度予算	比較増減	備　考
Ⅰ．会議費	300,000	200,000	▲100,000	
1.総　会　費	150,000	50,000	▲100,000	定例総会
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3.役員会費	25,000	25,000	0	会場費
4.委員会費	100,000	100,000	0	4委員会・事務局会開催費
Ⅱ．事務費	1,450,000	1,500,000	50,000	
1.消耗品費	250,000	300,000	50,000	事務用品、用紙代、衛生用品等
2.通　信　費	650,000	650,000	0	郵送料、振込手数料、電話料、ＨＰ管理費等
3.印　刷　費	150,000	150,000	0	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4.備　品　費	150,000	150,000	0	事務機使用料等
5.慶　弔　費	50,000	50,000	0	慶弔電報等
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
Ⅲ．事業費	1,650,000	2,300,000	650,000	
1.研修委員会	250,000	250,000	0	研修会×2回
2.ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ委員会	250,000	250,000	0	チャリティバザー
3.広報編集委員会	600,000	600,000	0	『無聖』87・88号発行
4.交流事業委員会	250,000	250,000	0	ソフトボール大会・会員大会
5.特設委員会	100,000		▲100,000	
6.教化費	100,000	100,000	0	会員大会時助成等
7.事 業 諸 費	100,000	400,000	300,000	旅費補助(全曹青･地協等)
8.会員名簿作成費	0	450,000	450,000	
Ⅳ．負担金	250,000	300,000	50,000	全曹青・地協会費・ストックヤード維持費
Ⅴ．予備費	720,000	700,000	▲20,000	
Ⅵ．雑費	150,000	250,000	100,000	渉外活動費、各会議茶菓等
Ⅶ．繰出金	2,000,000	450,000	▲1,550,000	
ボランティア基金	0	100,000	100,000	
特別事業準備金	0	350,000	350,000	
復興支援活動金	0	0	0	
宮城大会準備金	2,000,000		▲2,000,000	宮城大会準備金へ繰出し
合　計	6,520,000	5,700,000	▲820,000	

■特別会計予算書

- ボランティア基金　1,431,773円
- 特別事業準備金　3,110,843円
- 復興支援活動金　1,258,025円

総 収 入	5,700,000円
総 支 出	5,700,000円
差　引	0円

令和5年度の一般会計並びに特別会計予算書を上記の通り提出いたします。

令和5年4月17日　会長　髙 橋 信 弘　㊞

令和五年度第一回研修会

令和五年七月二十日（木）、二十一教区洞雲寺様にて特派布教師、岩手県永昌寺御住職、海野義範老師を講師としてお招きし、演題を『私が坊主をする理由～これから自分がすべきこと～』と題して今年度第一回研修会を開催致しました。

当日はオンライン受講を含め五十五名の会員の皆様にご参加いただき、開講式では数年ぶりに大人数での諷経が行われ、その様子は荘厳で有り難いものでした。

研修会では今期のスローガン『同行同修～共に学び共に行ずる～』のもと、コロナ禍による活動自粛期間に帰山された正会員をはじめ、今まで研鑽を積まれてきた正会員・賛助会員の方々にも改めて青年宗侶としての在り方や日常底を学んでいただくことを目的とし、ご講演いただきました。

海野老師は三十八歳で安居されるまでプロスキーヤーとしてご活躍され、全日本代表メンバーにも選出されるといった経歴をお持ちであり、もともとは僧侶になり寺を継ぐつもりはなかったということで、講演の前半では生い立ちからスキーヤーを経て僧侶になった軌跡を、後半では僧侶としての活動や取り組みについてお話いただきました。その内容は新鮮で興味深く、多彩なエピソードで語られる言葉やメッセージに、熱心に聞き入る方やメモを取る方の姿も多くみられました。

特に印象的だったのは、「最終的な目標を高く持つことで今の目先の目標はあくまでも通過点となり、それはより実現可能なものになる」ということを学んだ選手時代の先輩とのエピソード。そして僧侶になる決心をするきっかけになったのは「檀家さんの為に」といったお師匠様からの言葉であったというお話です。

研修会の最後には、これからのお寺の在り方についても話され、自分が出来ることを模索しながら、本堂・庫裡をどんどん活用し、地域の方が期待するお寺を展開していく。つまりそれは従来のお寺の在り方であり、「これからのお寺は、これまでのお寺だった」という言葉で締めくくられました。

海野老師の様々な実体験によるお話に、多くのことを考えさせられ、新たな学びや気づきを得ることができました。最後の質疑応答では、葬儀の際での法話などもお示しいただき研修会を終えました。

今回の研修会が、皆様にとって宗侶としての在り方や歩んでいく方向性の気づきや指針、そして今後の檀務や布教活動の一助となりましたら幸いです。

（研修委員長　岩井太秀）

令和五年度ソフトボール大会報告

令和五年六月五日、宮城県宗務所・宮城県曹洞宗青年会共催　令和五年度ソフトボール大会を開催いたしました。

今年度ソフトボール大会は、新型コロナウイルス感染症対策の移行時期であることを考慮し、昨年同様、リーグ戦のみの縮小開催といたしました。

当日は、ご多忙中にもかかわらず多くの会員の皆様がご参加くださいました。

大会中、各試合の随所で会員皆様の日頃の練習の成果が見られ、ようやく新型コロナウイルス感染症蔓延前の大会風景が戻りつつあることを実感できました。選手一人一人が、チームの為に一つの球を追いかけながら親睦を深める様子に、今期スローガン『同行同修』の理念に通ずるものをひしひしと感じました。

また、当委員会といたしましても、二年間中止となっていたソフトボール大会を昨年より再開してまいりましたが、中止期間中に新規入会されました会員の皆様と共に本大会に従事できましたこと誠に嬉しい限りです。

運営上、不行き届きの点も多々有ったかと存じますが、今大会を教訓といたしまして、今後の交流事業委員会活動に役立ててまいります。

最後となりましたが、ご参加いただきました会員の皆様、また企画・運営にご尽力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げ、茲に大会の無事圓成をご報告申し上げます。

皆様、誠にありがとうございました。

（交流事業委員長　三田村孝成）

令和五年度定例総会

去る令和五年四月十八日（火）午後二時より、新寺斎場清月記に於いて「令和五年度定例総会」が開催されました。事務局より定定数が確認され、計百二十九名（正会員七十三名参加（リモート含む）、委任状五十六通）、により総会の成立が確認されました。

議長には第一教区　昌林寺　松山宏成師が選出され、議長進行のもと次の事項が慎重に審議され、全て承認をいただきました。

【審議事項】

①東北地協「宮城大会」報告並びに決算報告
②令和四年度復興支援活動報告並びに決算報告
③令和四年度事業報告
④令和四年度収支決算報告並びに監査報告
⑤第二十八期役員選出について
⑥令和五年年度事業計画（案）
⑦令和五年度予算（案）
⑧その他

途中休憩を挿み、二十七期と二十八期が交代しての会議運営がなされ、牧野副会長の閉会宣言を以って本年度の定例総会が無事終了いたしました。

総会終了後、引き続き同会場において「合同委員会」が開催され、千田新会長より役員・委員に委嘱状を交付され、その後、各委員会に分かれ本年度の委員会事業について打ち合わせが行われました。

青年会員をたずねて①
～様々な活動をされているご寺院様の紹介～

第五教区　円龍寺

近年、私達の生きる社会はコロナ禍を機に人と人との関係がより希薄になりつつあると言えます。それは寺檀関係においても例外ではなく、様々な行持の縮小・中止に伴うお檀家さんとのコミュニケーション不足は寺院運営における大きな課題となっております。　そのような中、SNS等を活用し積極的にお檀家さんとの交流にご尽力されておられる第五教区円龍寺様にお伺いし副住職高橋大輔師ご夫妻にお話を聞いて参りました。

円龍寺様は、柴田町所在の四百年以上の歴史を誇る古刹です。山本周五郎著「樅ノ木は残った」の主人公、原田甲斐の菩提寺としても有名な東陽寺九世、大器永達大和尚様が文禄三年（一五九四年）に山号を福壽山として開創されました。

副住職ご夫妻は最初にお寺や仏教を身近に感じてもらうために、お寺の公式インスタグラムを開設されたそうです。手探り状態のなか始めた仏教語の解説やオリジナル御朱印の投稿などが徐々に評判を呼ぶようになり、更に今年、百五十年続く観音講を「観音講マルシェ」と称して気持ちに賛同してくれる方々と一緒にイベントを開催されました。観音講が始まった由来を小学生でも分かりやすい文章でパンフレットにし、SNS上で広報やブースの出店を募集されたそうです。当日は、縁日コーナー、地元の商品やクラフト販売、占い等の二十店のブースが出店したほか、ダンスや音楽も披露され、町内外から約四百人が参加し、普段静かな境内から活気溢れる声が響く素晴らしい催しになったとのことでした。

「お寺は暗いイメージがあると捉えている方が多いと思いますが、子供から大人まで身近で、親しみのある場所にしたい」と語った副住職様と、急なお願いにもかかわらず快く迎え入れてくださった寺族様、二人のお人柄に「お寺は沢山の人々に開かれた場所」として存在しているということを改めて感じさせられました。今後は親子イベント、十月に秋マルシェを企画されているそうです。

観音講マルシェの様子

FINDME_MY_S2

㈱ファインドミー
イベント企画・運営
インスタ

ENRYUUJI

円龍寺インスタ

観音講の説明パンフ

宮曹青主管　カンボジア教育支援活動
サンタピアップみやぎボランティア会

令和五年度「定例総会」報告

去る七月二日(日)午後三時より国分尼寺様(仙台市若林区)を会場に、令和五年度「定例総会」と「研修会」が開催されました。当日は三十一名(内オンライン四名)の方にご出席いただきました。

本年度の事業としては、書き損じハガキ・切手収集、クラフト商品・カレンダーの販売、カンボジアパネル展示を行います。

その他、コロナ禍で休止となっていたセルバ様、藤崎様でのカンボジアフェアを開催する予定です。

また、コロナ禍が次第に落ち着き海外への往来が再開されていることを踏まえ、二〇一九年に竣工したアンプ・ルー小学校の視察と、カンボジアの現在の状況や歴史、文化を学び、当会の教育支援活動への理解を深める、現地でのスタディツアーを開催できるよう検討を進めてまいります。

総会後の研修会では、講師として「公益社団法人シャンティ国際ボランティア会」より加瀬貴氏、湯浅真澄氏のお二人をお招きし、「カンボジアの現在とシャンティの教育支援」と題してお話をいただきました。

コロナ禍でのカンボジアの社会経済の状況をはじめ、年間の二百日の学校の授業日数のうち半分の百日がコロナ禍で閉鎖されたこと、旧ポルポト支配地域の僻地には政府の支援が十分届いていないことなど、最近までカンボジアで勤務されたご経験を交えたお話を伺うことができ、参加者の私たちの様々なご質問にもお答えをいただきました。

諸先輩老師方の活動をきっかけに、カンボジアの地で確かに息づいている教育支援活動への理解を深めるとともに、今後の活動を考える上でも大変参考となる研修会となりました。

一枚のハガキや切手が子どもたちを支えます

■書き損じハガキの送り先

〒981-0933
仙台市青葉区子平町3-23
仙台子平町郵便局留「サンタピアップ」宛

■支援金の送り先

郵便振替口座
名義　サンタピアップみやぎボランティア会
口座番号　02290-6-48744

■サンタピアップ事務局

〒981-0933
仙台市青葉区柏木3-7-40　江巖寺内
TEL：080（3144）3020（専用）
FAX：022（276）7426
E-mail：info@santapi.com
ホームページ：https://www.santapi.com/

■『古本・CDリサイクル』による支援

皆様のご家庭に、不要になった漫画や文庫本・CD・DVD・ゲームソフト等はございませんか？あの頃、大切にしたこの本をもう一度役立たせたい…是非とも私たちにお譲り下さい。
詳細はホームページ、又は事務局までご連絡下さい。

Santipheap Miyagi Volunteer Association
カンボジアに学校を…
サンタピアップ
みやぎボランティア会

新入会員紹介

一教区	圓福寺	徒弟	三田村尚範
一教区	松源寺	副住	東海大輝
五教区	東禪寺	徒弟	菅野友道
五教区	関泉寺	徒弟	田村芳淳
八教区	龍泉院	徒弟	佐々木宏優
九教区	龍洞院	徒弟	工藤寛慶
十教区	陽山寺	徒弟	吉田大樹
十四教区	安永寺	副住	清野大世
二十教区	花岳院	徒弟	遠藤圭心

卒業会員

一教区	清涼寺	住職	神作紹道
三教区	養松院	住職	楡木泰教
三教区	西光院	住職	坂本智彰
十教区	龍渕寺	住職	入野田宗孝
十一教区	西雲寺	副住	米谷照道
十三教区	多福院	住職	三輪宗俊
十四教区	林昌院	住職	吉田亮顕
二十一教区	正法寺	住職	大窪紘道

編集後記

第二十八期の広報編集長を担当させていただくこととなりました。早速、名簿編集など皆様に多くのご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

今後の任期も皆様のご加担をいただきながら、勤めてまいります。また、今期よりインスタグラムを開設し、活動等紹介しておりますので、ご高覧いただけると幸いです。

（広報編集委員長　佐藤邦彦）

●今後の予定

＊第二十七回カンボジア教育支援チャリティーバザー

◎日時：令和五年九月十三日（水）午後一時より販売

◎場所：栗原市栗駒岩ケ崎裏山二二一番地
　栗原市　栗駒総合体育館

本年も皆様のご参加と物品提供、並びにご協力の程よろしくお願いいたします。

MIYASOU.28
宮曹青インスタ

表紙写真　令和5年度
第一回研修会の様子

無聖 第87号（令和5年7月31日発行）

表紙題字　宗務所長 伊藤守弘 老師
編　　集　宮城県曹洞宗青年会
発 行 人　千田祥幹
事 務 局　宮城県仙台市太白区
　　鈎取4-1-21 鈎取寺内
T E L　090-2849-3830（専用）
F A X　022-243-1832
U R L　http://miya-sousei.com
E-mail　info@miya-sousei.com

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています。
ホームページはこちら 宮曹青 検索